



市長に聞く 2004年 鳥取市政の展望

年が明け、2004年を迎えました。

鳥取市は、市町村合併をはじめさまざまな施策の推進や、課題の解決に向けて取り組みを行っています。

これまで進めてきた取り組みのうち、特に重要な4つの柱について、今年にかける熱い思いを竹内市長に語っていただきました。

竹内 功 鳥取市長

Isao Takeuchi

**山陰の発展をリード
する日本海地域有数の
中核都市へ**

今年十月を目標に目指してきた合併がいよいよせまってきましたが。

そうですね。今年は鳥取市にとって、歴史的にも記念すべき躍進の年になると思います。

合併の協議は順調に進んでいます。昨年（平成十五年）九月一日に三つの合併協議会が一つになった「鳥取県東部九市町村合併協議会」がスタートし協議を重ねてきましたが、この度、夢のある二十万都市づくりビジョンを盛り込んだ「新市まちづくり計画」の案がまとまりました。一月中には、この計画のパンフレットを市民のみなさんに配布しますし、ホームページにも掲載して公表します。また、一月中旬頃から一カ月間かけて、市内十カ所の会場で住民説明会を行い、計画案と事務事業の調整方針を説明します。ぜひ市民のみなさんに参加していただき、ご意見を

お聞かせ願いたいですね。

とにかく、二〇〇四年十月一日の合併に向け全力を尽くして、この鳥取市を山陰の発展をリードする日本海地域有数の中核都市にするためにがんばります。

滞在型観光地を目指す

観光の振興について今年の戦略は。

観光の振興は、経済への波及効果が非常に大きく、本市の活性化にとって最も重要な課題です。そこで私は、観光客のみなさんに出るだけ長く鳥取を楽しんでいただける、いわゆる「滞在型観光地」へと変えていこうと考えています。そのため、実現した東京〜鳥取間の航空便の四便化、名古屋便就航、JR山陰本線・因美線の高速化など利便の向上を活かして、コンベンションの誘致やしゃんしゃん祭、お城まつりなどのイベントを盛り上げ、たくさんのお客様に来ていただけるよう積極的に取り組んでいきます。また、観光の核となる「鳥取砂丘」の魅力を高めるとも